



オーナーズガイド

Adobe メディアエンコーダ

1 概要

SurCode for Dolby Digital は、Adobe Premiere Pro の中で 5.1 サラウンドサウンドファイルを Dolby Digital (AC-3 とも呼ばれる) 形式に変換します。また、ステレオサウンドファイルやモノラルサウンドファイルも Dolby Digital 形式に変換できます。SurCode for Dolby Digital でエンコードされたオーディオファイルは、Dolby Digital 対応のレシーバや、ソフトウェアまたはスタンドアロンのデコーダで正確に再生 (デコード) できます。

SurCode for Dolby Digital では、製品購入の前にトライアルエンコードを 3 回まで試すことができます。購入するには、メインスクリーンの右上にある [Options (オプション)] ボタン (上部セクション - 図 3-1 参照) をクリックした後、[購入] タブをクリックします。購入のオプションが表示されます ([セクション 6.1、購入ページ](#)を参照)。トライアルエンコードの残り回数がメインスクリーン最上部に表示されます (図 6-2 を参照)。

注: オーディオ AC-3 のエンコードでは、ビデオ MPEG2 のエンコードのように、エンコードしている信号の種類に応じてプロセスの品質を最適化するために、エンコードパラメータに注意する必要があります。Dolby Digital の文献からの情報を、このガイドの付録『Dolby Digital Guidelines』に記載してあります。ただし、この付録は完全なものではないため、Dolby Digital のオプションパラメータの詳細と、エンコードするオーディオ素材用にそれらを最適化する方法について、www.dolby.com を参照することをお勧めします。

2 エンコードの目的

ビデオディスクの PCM (パルス符号変調) オーディオトラックはディスク領域を大きく消費します。たとえば、2 時間の PCM オーディオ (48kHz 16 ビットのステレオ) は、DVD ビデオの 4.3GB 容量の約 1.4GB を使用します。

Dolby Digital エンコードは、高いサウンド品質を維持しながらオーディオファイルのサイズを通常 12:1 の比率にまで縮小するため、ビデオディスク上のオーディオトラック用に最適なオプションです。SurCode for Dolby Digital によりディスク上ではるかに大きな領域が使用可能になるため、より多くのビデオを収録することや、より高い品質の MPEG ビデオエンコード率を使用することができます。

DVD ビデオ上のサラウンドオーディオコンテンツはすべてエンコードする必要があります。Dolby Digital でエンコードされた 5.1 サラウンドトラックは、ステレオ PCM トラックよりも少ない領域を使用します。ダウンミックスパラメータはすべて Dolby Digital オプション (とを参照) で設定できるので、再生システムがステレオのみの場合にユーザーは 5.1 サラウンドミックスをステレオで聴くことができます。

3 SurCode for Dolby Digital メインスクリーン（上部セクション）

図 3-1 は、SurCode for Dolby Digital のメインスクリーン（上部セクション）を示しています。

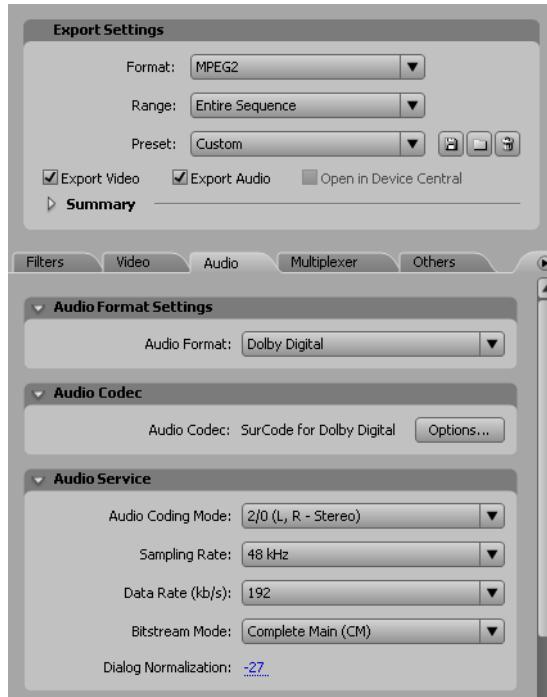


図 3-1

3.1 Codec

このプルダウンウィンドウでは、Codec のタイプを選択します。ここでは、SurCode for Dolby Digital を指定します。

3.2 オーディオコーディングモード

このプルダウンウィンドウでは、モノラル、ステレオ、またはサラウンドの入力サウンドファイルモードを選択します（図 3-2 を参照）。

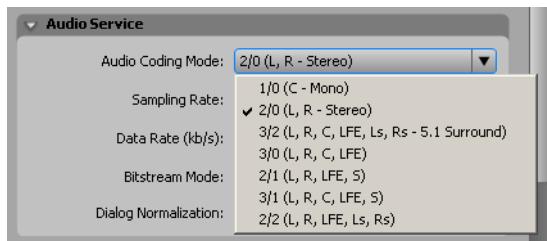


図 3-2

使用可能なオーディオコーディングモード：

1/0 = モノラルセンターチャンネル

2/0 = 左 / 右ステレオ

3/0 = 左、右、センター、LFE

- 2/1 = 左、右、LFE、サラウンド（モノラルサラウンド）
 3/1 = 左、右、センター、LFE、サラウンド（モノラルサラウンド）
 2/2 = 左、右、LFE、左サラウンド、右サラウンド
 3/2 = 左、右、センター、LFE、左サラウンド、右サラウンド（[LFE] ボックスを選択してある場合は 5.1 サラウンドモード - 図 3-3 を参照）。



図 3-3

図 3-3 は、[LFE On] ボックスを選択した状態を示しています。この設定では、オーディオモードが 5.1 フルサラウンドになります（「.1」はサブウーファーとも呼ばれる低周波数のエフェクトトラックがあることを意味します）。このボックスは実際に LFE トラックがある場合にのみ選択してください。

3.3 サンプリングレート

このウィンドウでは、サウンドファイルのサンプリングレート（48、44.1、または 32kHz）を表示 / 設定します。DVD ビデオは 48kHz のサンプリングレートしか受け入れないことに注意してください。

3.4 データレート

このプルダウンウィンドウは、エンコードするファイルのデータレートを設定します。448kb/s が DVD ビデオサラウンドオーディオ用の推奨設定で、デフォルト設定になっています。

3.5 ビットストリームモード

このプルダウンウィンドウは、コンテンツのタイプに応じたビットストリームモードを設定します。デフォルト設定は [コンプリートメイン (CM)] です。

3.6 センターダウンミックスレベル

このプルダウンウィンドウは、センターチャンネル減衰の量を、[-3dB]、[-4.5dB]、または [-6dB] に設定します。デフォルト設定は [-3dB] です。

3.7 サラウンドダウンミックスレベル

このプルダウンウィンドウは、サラウンドチャンネル (Ls と Rs) の減衰の量を、[-3dB]、[-4.5dB]、または [-6dB] に設定します。デフォルト設定は [-3dB] です。

3.8 ダイナミックコンプレッションプリセット（ダイナミックレンジコンプレッションプリセットとも言う）

このプルダウンウィンドウは、コンプレッション（圧縮）のタイプを設定します。デフォルト設定は [フィルム標準] です。

3.9 ダイアログノーマライゼーション

この上下に値が変化するボタンは、ダイアログノーマライゼーション値を設定します。デフォルト設定は [-27] です。

3.10 オーディオ制作情報

[ビットストリーム情報]にはこの情報が含まれている場合もあります。希望に応じて、ボックスにチェックマークを付けて、ミキシングルームの広さとミキシングレベルを選択します。このオプションは通常選択しません。

3.11 著作権付

このチェックボックスが選択されている場合は、エンコードされた素材に著作権が存在することを意味します。

3.12 オリジナル

このチェックボックスが選択されている場合は、エンコードされた素材がオリジナルコンテンツであることを意味します。

4 *SurCode for Dolby Digital* メインスクリーン（下部セクション）

図 4-1 は、*SurCode for Dolby Digital* のメインスクリーン（上部セクション）を示しています。

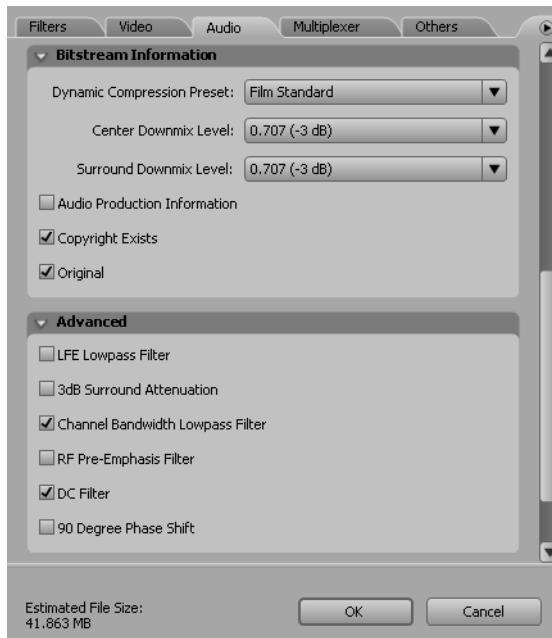


図 4-1

図 4-1 に示されている [LFE ローパスフィルタ]、[90 度フェーズシフト]、[3dB サラウンド減衰]、[チャンネル帯域幅ローパスフィルタ]、[DC フィルタ]、[RF プリエンファシスフィルタ]、[Dolby サラウンドモード]、[デエンファシス]、[拡張ビットストリーム情報] のチェックボックス（および関連のモードとレベル設定）は、Dolby の詳細オプションの一部です。これらのチェックボックスをデフォルト設定以外に変更する場合は、各パラメータの詳細について、Dolby の説明書を参照してください。説明書は www.dolby.com と http://www.dolby.com/assets/pdf/tech_library/18_Metadata_Guide.pdf にあります。

5 エンコード

[OK] ボタンをクリックするだけです (図 5-1 を参照)。



図 5-1

エンコードプロセスは、[キャンセル]ボタンを押しても取り消すことができます。

6 オプションページ

オプションページには、メインスクリーンの右上にある [Options (オプション)] ボタンをクリックしてアクセスします (上部セクション - 図 3-1 を参照)。

6.1 購入ページ

[購入] タブは、このプログラムが Minnetonka Audio Software より購入されていない場合にのみ表示されます。このページには、SurCode for Dolby Digital に該当する購入オプションが表示されます (図 6-1 を参照)。



図 6-1

SurCode for Dolby Digital では、製品購入の前にトライアルエンコードを 3 回まで試すことができます。トライアルエンコードの残り回数が、[購入]セクションの中央付近と、メインスクリーンの上部に表示されます(上部セクション - 図 6-2 を参照)。

Trial Uses Remaining: 3

図 6-2

このページは、アクティベーションコードを入力した後は表示されなくなります。

6.2 バージョン情報ページ

このページにはバージョン番号、著作権、Minnetonka Audio Software, Inc. サポート情報および必要なシステムコード番号が表示されます(図 6-3 を参照)。

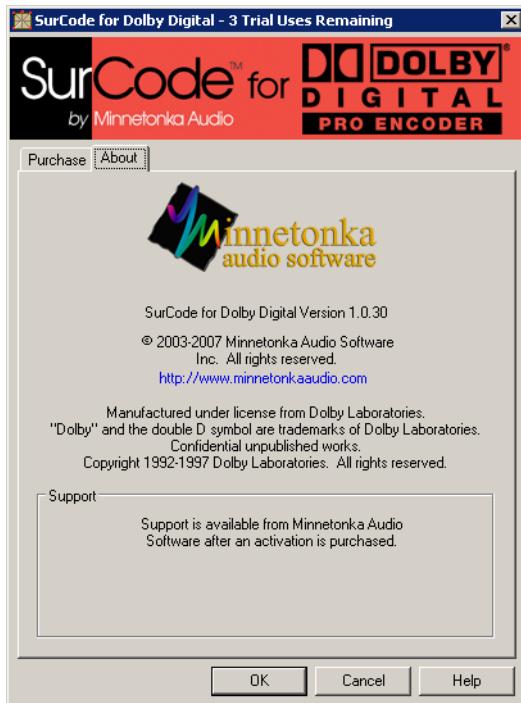


図 6-3

サポート連絡先（英語のみ）：
Minnetonka Audio Software, Inc.
17113 Minnetonka Blvd. Suite 300
Minnetonka, MN 55345
電話：952-449-6481
ファックス：952-449-0318
tech@minnetonkaaudio.com
www.minnetonkaaudio.com
www.surcode.com

Copyright 2003-2007